

No.

6

静脈内鎮静法入門

—無痛治療をめざす—

麻 酔

日時：平成28年11月26日(土)9：30～17：00

平成28年11月27日(日)9：30～17：00

講師：東京医科歯科大学麻酔・生体管理学分野

深山 治久 教授

ホームページ申込み

ハガキ申込み

会 費 ￥85,000

定 員 20名

当日徴収実習関連費 ￥7,000

- 静脈内鎮静法 (IVS) の目的、適応、禁忌を理解していただきます
- 実習を通じて静脈内鎮静法への第一歩を踏み出しましょう

インターネットなどでは「無痛治療」がたくさん検索できます。一度歯科医院で痛い目に遭った患者さんは治療に強い恐怖心を抱きますが、その人数は想像以上です。

痛みは基本的に局所麻酔で取りますが、心の痛み、精神的な緊張を取り除くのが静脈内鎮静法です。患者さんはリラックスした気分で処置を受けることができ、多くの場合治療中の出来事を覚えていません。患者さんがほとんど動かないので、術者である私たちは治療に集中できます。歯科麻酔外来の年間2,000症例のうち、約4割の800例がインプラント手術であることは、長い治療にも患者と歯科医師双方が快適に臨めることを裏付けています。

このコースでは、静脈内鎮静法を導入するにあたりその目的や適応・禁忌を理解し、本当の意味での「無痛治療」を提供できる第一歩を踏み出していただきます。

講 義

1. 静脈内鎮静法の位置づけ
2. 適応と禁忌
3. 鎮静レベルの評価
4. 使用する薬剤
5. 周術期管理
6. モニタリング
7. 緊急時の対応

実 習

1. 診療情報提供書の書き方・読み方
2. 症例の評価
3. バイタルサインの確認
4. 静脈確保練習 (マネキン)
5. 静脈確保 (相互実習)
6. モニタリング (相互実習)
7. 緊急時の対応 (人工呼吸と胸骨圧迫)

